学校番号	２０１

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学理系演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	入試必修問題集 精錬 数学Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ＋数学Ｃ〔ベクトル〕（啓林館） プレテストＨａｒｆ数学Ⅰ・Ａ（数研出版） プレテストＨａｒｆ数学Ⅱ・Ｂ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用ノートを用意してください。
・大学入試試験に向けて１・２年次履修した数学ＩＡ・ⅡＢの復習をします。
・授業の進め方は、要点をこちらで解説→その後演習という形になります。
・授業のためというより、入試のために予習復習は必ずしてください。
・特に、「最初はわからなかったけど解説を聞いたら理解できた」という問題は、もう一度自分で解答をつくれるように練習してください。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 数学ＩＡⅡＢすべての分野の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学ＩＡⅡＢすべての分野の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ⅠA復習	・式の計算，式の値 ・方程式と不等式 ・関数のグラフ ・2次関数の最大・最小 ・2次不等式の応用，2次関数の総合問題 ・命題と集合 ・三角比(1)，(2)	a:数学Ⅰで学習した公式を用いて，答えを導くことができる。 b:数学Ⅰで学習した考え方を用いて，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰで学習した知識と問題を関連付け，粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		・場合の数，順列 ・組合せ ・確率(1)，(2) ・図形の性質 ・整数(1)，(2) ・多項式の除法，分数式，二項定理 ・式と証明	a:数学A・数学Ⅱで学習した公式を用いて，答えを導くことができる。 b:数学A・数学Ⅱで学習した考え方を用いて，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学A・数学Ⅱで学習した知識と問題を関連付け，粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
2学期	ⅡB復習	・複素数と2次方程式 ・高次方程式 ・点と直線 ・円と直線 ・軌跡と領域 ・三角関数(1)，(2) ・指数関数・対数関数 ・微分係数と導関数，接線の方程式 ・関数の値の変化，最大・最小 ・方程式・不等式への応用 ・積分の計算，定積分を含む関数	a:数学Ⅱで学習した公式を用いて，答えを導くことができる。 b:数学Ⅱで学習した考え方を用いて，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅱで学習した知識と問題を関連付け，粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
		・面積 ・等差数列・等比数列 ・いろいろな数列 ・漸化式 ・数学的帰納法，数列の総合問題 ・ベクトルと内積 ・ベクトルと平面図形 ・ベクトルと空間図形 ・データの分析 ・確率分布	a:数学Ⅱ・数学Bで学習した公式を用いて，答えを導くことができる。 b:数学Ⅱ・数学Bで学習した考え方を用いて，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅱ・数学Bで学習した知識と問題を関連付け，粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

3学期	共通テスト対策	プレテストHarf	a:数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b: 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰ･A･Ⅱ・Bで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート
	2次試験対策	過去問演習	a: 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで学習した公式を用いて,答えを導くことができる。 b: 数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bで学習した考え方を用いて,式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c: 数学Ⅰ･A･Ⅱ・Bで学習した知識と問題を関連付け,粘り強く考え判断しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度